

第1学年 生活科 学習指導案

日時 令和5年11月28日(火)

児童 1年生 計4名

指導者

1 単元名 「かぞく にこにこ だいさくせん」(東京書籍 上)

2 単元の見どころ

家庭生活に関わる活動を通して、家族のことや自分でできること、役割について考えたり、やってみたいことを伝えたりして、家庭での生活は互いに支え合っていることと家族と交流することの楽しさが分かるとともに、家族の一員として、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気をつけて生活したりすることができるようにする。

3 単元について

(1) 児童について

児童は、学校生活の中で責任感をもちながら自分の役割に取り組んでいる。自分の役割以外のことにも積極的に活動する姿が見られ、どんなことに対しても協力的である。家庭での役割について、普段から自分ができたこと、頑張ったことを笑顔で話をする様子が見られ、日常生活での役割は身に付いていることが多い。しかし、学校生活とは違い家庭では、頼まれてから行うお手伝いが多く、積極性に欠け継続的に行うことはできていない。役割を自分一人で最後までできる、できないの判断が曖昧で、やればできると考えているが行動に移せずにいる児童がほとんどである。そこで、学校生活の役割だけでなく、家庭での役割を見つめ直し、継続的に進んで最後まで自分でできる力を付けさせたい。

(2) 単元について

本単元は、学習指導要領の内容(2)「家庭と生活」、(8)「生活や出来事の伝え合い」、(9)「自分の成長」をもとに構成している。

自分と家族の普段の生活について振り返ることを通し、家族にたくさん支えられていることに気付くことができる単元である。家族の優しさや思い、大切にされていること等、気付いたことから、家族のために自分は何ができるのかを考え、継続的に取り組める役割ができるように計画を立てる。家庭生活中で家族が笑顔で生活できるように、自分の役割を進んで継続的にやり、家族の一員として自分ができていることを考え、よりよい生活をしようとする意欲を高めることができる題材である。

(3) 指導について

本単元では、自分も家族の一員としての自覚をもち、「お手伝い」ではなく、継続して行う「自分の役割」として積極的に取り組めるようにしたい。自分と家族の1日を比較させ、家族が生活の中でたくさんの仕事をしていることに気付き、自分の役割の少なさから家族の役に立てる役割を考えさせたい。1つずつ行う役割でも最後まで責任をもてるように意識付けをさせ、できることを増やし自分の成長に繋げるようにすることを通して、家族と協力してこれからも笑顔で家庭生活を送ることができるように継続的に役割を担わせたい。

(4) 研究との関わり

仮説2に関わる手立て【ひと・もの・ことに関わる対話の工夫】

①課題意識	<p>ア 単元のゴールの具体化 家族がどんな気持ちで家庭の役割を行っているかを考える。</p> <p>イ 気付きや考え、興味・関心からの課題設定 家族が家庭のために、自分達が思っているよりも掃除や洗濯等の役割が多いことに気付き、友だちと気付きを伝え合う。</p>
②思いや願い、考えを伝え合う	<p>ア 自分の考えを表現 自分達も家庭のために役立てることは何かを考え、挑戦したいことを自分なりに表現する。</p> <p>イ 共通点・相違点を基にした思考 家族が担っている役割がどこの家庭でも多いことが分かり、家族のために行っていることに気付く。</p>

4 単元の評価規準

単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		家庭生活に関わる活動を通して、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かっていく。	家庭生活に関わる活動を通して、家庭における家族のことや自分でできることなどについて考えていく。	家庭生活に関わる活動を通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気をつけて生活したりしようとしている。
小単元における評価規準	1	① 家庭の温かさや自分の役割に気付いている。	① 家庭生活を思い起こし、家族のことや自分のこと、自分がしていることについて表現している。	① 家族のことに興味をもち、家庭生活を見つめようとしている。
	2	② 自分でできることが増える喜びや家庭での自分の役割、家族と交流することのよさや楽しさが分かっていく。	② 自分の活動を振り返りながら、継続して取り組みたいことを決めている。	② 家族が喜ぶことを考え、自分でできることに繰り返し取り組んだり、進んで家族と交流したりしようとしている。
	3	③ 家族の大切さや自分が家族によって支えられていること、自分も家庭を構成する大切な一人であることに気付いている。	③ これまでの自分の活動について、取り組んだことを振り返りながら、自分の役割を意識してこれから頑張りたいことなどを表現している。	③ 自分の役割を積極的に果たし、自分に自信をもってこれから生活をしようとしている。

5 指導と評価の計画（10時間）

小単元名(時間)	ねらい・学習活動	知	思	主	評価方法
じぶんとかぞくの1日をしらべよう 3時間 3/3 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> 自分や家族の1日の様子を思い出し、友達と気付いたことを話し合う。 家庭でわからないことを見たり尋ねたりして、家族の1日や仕事を調べる。(時間外活動) 家庭で仕事をする家族の気持ちを考える。 家族が果たす役割や仕事と自分との関わりについて考える。 	①	①	①	<ul style="list-style-type: none"> 発言分析 ワークシート分析 発言分析
できることにチャレンジせん 2時間	<ul style="list-style-type: none"> 家庭の中で自分のできそうなこと、やってみたいことを考え、計画を立てる。 自分でできることに取り組む。(時間外活動) 家庭で行った仕事についてカードなどに表現し、挑戦したことを振り返り、まとめる。 	②	②	②	<ul style="list-style-type: none"> 発言分析, 行動観察 ワークシート分析
つたえよう 4時間	<ul style="list-style-type: none"> 家族が喜んだり、家庭生活が楽しくなったりするために、これからの自分ができることについて考える。 家庭の仕事を行った時のことや、分かったことを発表する。 分かったことを伝え合い、家族への手紙に表そうとする。 自分が家族のためにできることを続けていく。(時間外活動) 	③	③	③	<ul style="list-style-type: none"> 発言分析, ワークシート分析 発言分析 ワークシート分析
これまでをふりかえり、ふゆ休みをげん気にすごそう 1時間	<ul style="list-style-type: none"> これまでのことを友達と伝え合い、自分自身の成長を振り返る。 年末年始の行事のことや、冬休み中の生活、家族と一緒にやってみたいことなどについて話し合う。 		③		<ul style="list-style-type: none"> 発言分析, ワークシート分析

6 本時の指導 (3/10時間)

(1) 目標

家庭生活における家族の役割を見直して、家族が果たしている家庭の仕事と、自分の生活の関わり方に気づき、家族のために自分ができることに取り組むことができるようにする。【思考・判断・表現】

段階	学習活動	○指導上の留意点 ◎評価 【仮説に関わる手立て】
導入 (5分)	1 前回学んだこと・考えたことの確認をする。 ・自分と家族の1日の仕事量の違い ・家族は何のために家の仕事をしているのか。 ・家族はどんなことを考えて仕事をしているか。	○視覚的に捉え確認できるように掲示をする。 【手立て① 課題意識 ア】
展開 (35分)	2 家族をにこにこ笑顔にするためにどうしたらよいかについて、考えをもとに課題設定をする。	○家族が考えていることから、自分達の役割に意識付けできるようにする。 【手立て① 課題意識 ア】
	㊦かぞくが えがおになることは なにかみつけよう。	【手立て① 課題意識 イ】
	3 家族が笑顔になって喜ぶような取り組みは何か考える。 ・自分でできることは自分です。 ・言われなくても勉強をする。 ・肩を揉む。 ・家の手伝いをする。	◎家族が喜ぶことを考え、自分でできることに繰り返し取り組んだり、進んで家族と交流したりしようとしている。【思考・判断・表現】 (発言分析・ワークシート分析)
	4 自分でできそうな役割, 家族に喜んでもらえそうなことを考え, ロイロノートでテキストを操作し, 発表をする。 ・くつならべ ・玄関はき ・洗濯物たたみ	○ロイロノートを活用し, 自分でできそうなことを伝え合う。 【手立て② 伝え合う ア】
	5 取り組み方についてその場で実践し, 思ったこと, 意識したことを伝え合う。写真でも比較し, 本当に役割を一人でできそうか考える。	○家族が喜びそうな実践を試してみる。 ○写真で見比べ確認し, 役割を中途半端に終えないことを意識付けする。
6 考えをもとにまとめをする。 ㊧かぞくが えがおになるために じぶんができることを がんばってみよう。	○まとめのほかに, それぞれが頑張ることをワークシートに書けるようにする。	
7 家庭からのアンケートの紹介 ・家族が考えていることを伝える。 ・やることが多くてもみんなのために家の仕事, 役割をしていることを確認する。	○各家庭の事情に考慮しながら紹介をする。 ○手紙からどんなことを思ったか聞き, 家族の思いに気付くようにする。 【手立て② 伝え合う イ】	
終末 (5分)	8 本時の振り返りをする。 ①わかったこと ②友達の考えから学習したこと ③次に学習したいこと	○次時は自分が続けてできそうな役割を詳しく考え, 計画を立てていくことを伝える。

7 板書計画

<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名前</th> </tr> <tr> <td><u>じぶん</u></td> <td><u>かぞく</u></td> </tr> <tr> <td>おきる</td> <td>おきる</td> </tr> <tr> <td>たべる</td> <td>ごはんを つくる</td> </tr> <tr> <td>がっこう</td> <td>かたづけ</td> </tr> <tr> <td>おやつ</td> <td>そうじ</td> </tr> </table>	名前		<u>じぶん</u>	<u>かぞく</u>	おきる	おきる	たべる	ごはんを つくる	がっこう	かたづけ	おやつ	そうじ	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名前</th> </tr> <tr> <td><u>じぶん</u></td> <td><u>かぞく</u></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	名前		<u>じぶん</u>	<u>かぞく</u>			<p>㊦ かぞくが えがおになる ことはなにか みつけよう。</p>	<p>㊧ えがおにするために じぶん ができることを がんばろう。</p>
名前																					
<u>じぶん</u>	<u>かぞく</u>																				
おきる	おきる																				
たべる	ごはんを つくる																				
がっこう	かたづけ																				
おやつ	そうじ																				
名前																					
<u>じぶん</u>	<u>かぞく</u>																				
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名前</th> </tr> <tr> <td><u>じぶん</u></td> <td><u>かぞく</u></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	名前		<u>じぶん</u>	<u>かぞく</u>			<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名前</th> </tr> <tr> <td><u>じぶん</u></td> <td><u>かぞく</u></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	名前		<u>じぶん</u>	<u>かぞく</u>			<p>よろこぶためには？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じぶんで できることを じぶんでする。 ・いわれるまえに する。 ・てつだいをする。 ・かたをもむ。 	<p>くらべる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きれいに たためていない。 ・きれいに たたんだけど、そろ えていない。 ・くつをそろえているけど、たく さんでている。 						
名前																					
<u>じぶん</u>	<u>かぞく</u>																				
名前																					
<u>じぶん</u>	<u>かぞく</u>																				